

第168号

平成15年 3月議会
(2003年)

ふなばし

市議会だより

発行 船橋市議会
編集 広報編集委員会

船橋市湊町2-10-25
電話 047(436)3012

<http://www.city.funabashi.chiba.jp/giji/gikaisite/>



21世紀の船橋の顔「フェイス」

第1回定例会

平成15年度

一般会計予算 1,397億7千万円を可決

中核市として新たなスタート

会議の経過

平成15年度第1回定例会は、2月26日から3月26日まで
の29日間の会期で開かれました。

初日に市長から、平成15年度市政執行方針及び提出議案
について説明がありました。

今定例会では、各会計の新年度予算案、中核市移行に伴
う条例案など43議案が提出され、市政執行方針とあわせ
活発な質疑が行われました。

最終日には、議案、陳情及び追加提出された人事案件を
議決し、任期最後の定例会を閉会しました。

人事案件

定例会初日に人権擁護委員
の候補者推薦についての諮問
がありました。また、最終日
には、固定資産評価員及び固
定資産評価審査委員会委員任
命の同意を求める議案が提出
され、議会はこれらに同意し
ました。

- 人権擁護委員
白木道子(再任)
赤樫節子(再任)
- 固定資産評価員
高崎健治(新任)
- 固定資産評価審査委員会委員
宮本昌一(新任)

主な記事

議案の概要	可決された意見書	2頁
三番瀬調査研究特別委員会の報告		
議案・陳情議決結果一覧表		3頁
予算の概要	予算特別委員会の審査概要	4頁
各委員会の動き		
市政執行方針及び議案に対する質疑		6頁
・市民連合	日本共産党 無所属	
・小さな声ネットワーク	市清会	7頁
・ふなばし21	緑政会	7頁
・清新会	公明党 新風	8頁

2月26日(水) 開会
会期の決定
市政執行方針及び
提案説明
3月5日(水) 6日(木)
7日(金) 10日(月)
市政執行方針及び
議案に対する質疑
11日(火)
市政執行方針及び
議案に対する質疑
議会運営委員会
12日(水)
市政執行方針及び
議案に対する質疑
議案の付託
陳情の付託
14日(金)
常任委員会
17日(月) 18日(火)
19日(水) 20日(木)
予算特別委員会
26日(水)
付託事件の審査報告
及び採決
追加議案の採決
議案の採決
三番瀬調査研究
特別委員会の報告
閉会

議案について

議案の概要

予算関係

平成15年度予算関係

【第1号、第12号】
各会計別予算額は別表のとおり
(4面に掲載)

【第17号】
調整手当の額を引き下げる
とともに、新たな職務の級を
設け、あわせて保健所開設に
伴い改正をするもの。

平成14年度一般会計補正予
算 【第13号】
6億5千160万円の
追加補正
内容
・新世代地域ケーブルテレビ
施設整備補助金
・国民健康保険事業特別会
計への繰入金
・保育所建設費
・公園緑地整備基金積立金

職員退職手当支給条例の一部
を改正する条例 【第18号】
退職職員手当の支給基準及
び早期退職者優遇制度の拡大
について改正するもの。

平成14年度国民健康保険事
業特別会計補正予算 【第14号】
5億3千260万円の
追加補正
内容
・保険給付費
・老人保健拠出金
・介護納付金

特別職の職員の給与等に関す
る条例の一部を改正する条例
【第20号】
調整手当の額及び旅費を引
き下げるもの。

平成14年度下水道事業特別
会計補正予算 【第15号】
9億4千8百万円の
追加補正
内容
・下水道整備費

非常勤の特別職の職員の報酬
及び費用弁償等に関する条例
の一部を改正する条例
【第21号】
調整手当の額及び旅費を引
き下げるもの。

平成14年度下水道事業特別
会計補正予算 【第16号】
1千310万円の追加補正
内容
・企業債償還金

手数料条例の一部を改正する
条例 【第23号】
中核市移行及び法改正によ
り整備するもの。

平成14年度下水道事業特別
会計補正予算 【第15号】
9億4千8百万円の
追加補正
内容
・下水道整備費

簡易マザーズホーム条例等の
一部を改正する条例
【第31号】
支援費制度が施行されるこ
とに伴い整備するもの。

平成14年度下水道事業特別
会計補正予算 【第16号】
1千310万円の追加補正
内容
・企業債償還金

知的障害者更生施設条例
【第32号】
中核市移行に伴い整備する
もの。

平成14年度下水道事業特別
会計補正予算 【第15号】
9億4千8百万円の
追加補正
内容
・下水道整備費

船舶都市計画事業船舶駅南口
第一地区第一種市街地再開発
事業施行条例の一部を改正す
る条例 【第34号】
法改正により整備するもの。

平成14年度下水道事業特別
会計補正予算 【第16号】
1千310万円の追加補正
内容
・企業債償還金

船舶駅南口地下駐車場条例
【第35号】
船舶駅南口地下駐車場を設
置するに当たり、その設置及
び管理について規定するもの。

平成14年度下水道事業特別
会計補正予算 【第15号】
9億4千8百万円の
追加補正
内容
・下水道整備費

都市計画法に基づく開発行為
等の基準に関する条例の一部
を改正する条例 【第36号】
法改正により整備するもの。

平成14年度下水道事業特別
会計補正予算 【第16号】
1千310万円の追加補正
内容
・企業債償還金

市営住宅条例の一部を改正す
る条例 【第37号】
田野野井借上公営住宅を新
設するもの。

平成14年度下水道事業特別
会計補正予算 【第15号】
9億4千8百万円の
追加補正
内容
・下水道整備費

契約関係
包括外部監査契約の締結につ
いて 【第38号】
契約金額
1千7百万円を上限とする

もの。

国民健康保険条例の一部を改
正する条例 【第25号】
法改正により整備するもの。

老人医療費の助成に関する条
例の一部を改正する条例
【第26号】
国の高齢者医療制度改革に
あわせて整備するもの。

介護保険条例の一部を改正す
る条例 【第27号】
平成15年度から平成17年度
までの保険料を定めるもの。
また、保険料の額を5段階か
ら6段階に区分するもの。

本町駐車場条例の一部を改
正する条例 【第33号】
全日及び昼間に定期利用制
度を設けるもの。

町名の呼称の変更について
【第41号】
船舶市住居表示審議会の審
議を経て、町名称を変更す
るもの。

船舶都市計画事業船舶駅南口
第一地区第一種市街地再開発
事業施行条例の一部を改正す
る条例 【第34号】
法改正により整備するもの。

船舶駅南口地下駐車場条例
【第35号】
船舶駅南口地下駐車場を設
置するに当たり、その設置及
び管理について規定するもの。

都市計画法に基づく開発行為
等の基準に関する条例の一部
を改正する条例 【第36号】
法改正により整備するもの。

市営住宅条例の一部を改正す
る条例 【第37号】
田野野井借上公営住宅を新
設するもの。

契約関係
包括外部監査契約の締結につ
いて 【第38号】
契約金額
1千7百万円を上限とする

その他
市道の路線認定及び変更並び
に廃止について 【第39号】
市道として路線を認定及び
変更並びに廃止するもの。

事業収支改善計画の作成につ
いて 【第40号】
船舶市小型自動車競走事業
事業収支改善計画書について
小型自動車競走法第17条の
2の規定により議会の議決を
得るもの。

町名の呼称の変更について
【第41号】
船舶市住居表示審議会の審
議を経て、町名称を変更す
るもの。

船舶都市計画事業船舶駅南口
第一地区第一種市街地再開発
事業施行条例の一部を改正す
る条例 【第34号】
法改正により整備するもの。

船舶駅南口地下駐車場条例
【第35号】
船舶駅南口地下駐車場を設
置するに当たり、その設置及
び管理について規定するもの。

都市計画法に基づく開発行為
等の基準に関する条例の一部
を改正する条例 【第36号】
法改正により整備するもの。

可決された 意見書

【(仮称)環境教育・学習推
進法の早期制定に関する意見
書】
国から地方への税源移譲に
関する意見書
学校施設の耐震化対策等促
進に関する意見書
平和の世紀への貢献に関す
る意見書
18歳選挙権の早期実現に関
する意見書
公共事業受注企業からの献
金禁止に関する意見書
県補助金等削減中止に関す
る意見書
戸籍法の早期改正に関する
意見書
イラクでの戦争反対に関す
る意見書

三番瀬調査研究 特別委員会の報告

平成13年第3回定例会にお
いて設置された三番瀬調査研
究特別委員会から、調査研究
活動を終了するに当たり、活
動経過・意見等をまとめた報
告書が提出されました。その
概要は次のとおりです。

1、初めに

本委員会は、市川2期地
区・京葉港2期地区土地造成
計画が白紙撤回され、三番瀬
の今後の保全のあり方が大き
く注目されている中、市議会
として、「三番瀬の保全及び海
辺の活用」について調査研究
するために設置され、積極的
に委員活動を行ってきた。

2、委員会の活動経過

【参考人からの意見徴収】
専門家である参考人から講
義を受け、意見交換を行った。

料の収集をした。

望月賢二氏(補足調査専門
委員長)を招き、三番瀬の現
況及び保全・再生について、
松本昭治氏(船舶市漁業協
同組合専務理事)を招き、三
番瀬の今後の問題について、
工藤孝浩氏(神奈川県水産
総合研究所主任研究員)を招
き、生物から見た三番瀬と東
京湾のつながりについて、
花輪伸一氏(WWFジャパ
ン自然保護室主任)を招き、
ラムサール条約と日本の湿
地・干潟について、

【視察の概要】
船舶海浜公園、市川市の垂
直護岸及び猫実川下流部分か
らの三番瀬を視察した。
ラムサール条約登録湿地で
ある厚岸湖及び釧路湿原につ
いて、ラムサール条約に関連
する行政の取り組み等につ
いて視察し、意見交換を行い資

【委員会の意見・要望】
豊かな自然と浄化機能を持
つ三番瀬の保全・再生のため
に努力すること。
ウガンダで開催される締約
国会議において、三番瀬をラ
ムサール条約登録湿地とする
ことを目指すこと。登録の前
提条件である国設鳥獣保護区
設定の手続きを進めること。
安定した豊かな漁業資源を
回復するため、緊急課題とし
て漁場の再生を図ること。

三番瀬の機能保全は、自治
体の取り組みでは限界があり
東京湾全体でとらえること。

3、終わりに

千葉県は、三番瀬再生計画
検討会議を設立し、平成15
年度中に再生計画案を作成す
ることになっている。また、
国は、東京湾再生推進会議を
設置し、東京湾の水質改善の
ための行動計画を策定するな
ど、海の再生に向けて変化し
てきている。
海を活かしたまちづくりを
進める本市にあつては、本委
員会の意見を十分にき取り、
国・県・東京湾周辺市、そし
て市民とも協力して三番瀬の
復活を目指す、その恵みを次
世代に引き継ぐための積極的
な努力と熱意を期待して、本
委員会の報告とする。



議案・陳情議決結果一覧

議案議決結果

区分	件名	各会派の賛否								議決結果			
		市	新	ふ	清	緑	公	共	民		声	無	
議案第1号	平成15年度船橋市一般会計予算									×			可決
議案第2号	平成15年度船橋市国民健康保険事業特別会計予算									×			可決
議案第3号	平成15年度船橋市下水道事業特別会計予算									×	×		可決
議案第4号	平成15年度船橋市小型自動車競走事業特別会計予算									×	×	×	可決
議案第5号	平成15年度船橋市交通災害共済事業特別会計予算												可決
議案第6号	平成15年度船橋市火災等災害共済事業特別会計予算												可決
議案第7号	平成15年度船橋市老人保健医療事業特別会計予算									×			可決
議案第8号	平成15年度船橋市船橋駅南口市街地再開発事業特別会計予算									×			可決
議案第9号	平成15年度船橋市介護保険事業特別会計予算									×			可決
議案第10号	平成15年度船橋市母子寡婦福祉資金貸付事業特別会計予算												可決
議案第11号	平成15年度船橋市中央卸売市場事業会計予算									×			可決
議案第12号	平成15年度船橋市病院事業会計予算									×			可決
議案第13号	平成14年度船橋市一般会計補正予算												可決
議案第14号	平成14年度船橋市国民健康保険事業特別会計補正予算												可決
議案第15号	平成14年度船橋市下水道事業特別会計補正予算										×		可決
議案第16号	平成14年度船橋市病院事業会計補正予算												可決
議案第17号	一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例									×			可決
議案第18号	船橋市職員退職手当支給条例の一部を改正する条例									×			可決
議案第19号	職員の旅費に関する条例及び証人等の実費弁償条例の一部を改正する条例												可決
議案第20号	特別職の職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例												可決
議案第21号	船橋市教育委員会教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例												可決
議案第22号	非常勤の特別職の職員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例												可決
議案第23号	船橋市手数料条例の一部を改正する条例												可決
議案第24号	小型自動車競走施行条例の一部を改正する条例									×	×		可決
議案第25号	船橋市国民健康保険条例の一部を改正する条例									×			可決
議案第26号	船橋市老人医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例									×	×	×	可決
議案第27号	船橋市介護保険条例の一部を改正する条例									×			可決
議案第28号	船橋市と畜場法に基づく一般と畜場の構造設備の基準を定める条例												可決
議案第29号	船橋市旅館業法に基づく旅館業の施設の構造設備の基準を定める条例												可決

区分	件名	各会派の賛否								議決結果			
		市	新	ふ	清	緑	公	共	民		声	無	
議案第30号	船橋市母子家庭、父子家庭等医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例									×	×		可決
議案第31号	船橋市簡易マザーズホーム条例等の一部を改正する条例									×	×		可決
議案第32号	船橋市知的障害児通園施設条例の一部を改正する条例												可決
議案第33号	船橋市本町駐車場条例の一部を改正する条例												可決
議案第34号	船橋都市計画事業船橋駅南口第一地区第一種市街地再開発事業施行条例の一部を改正する条例												可決
議案第35号	船橋市船橋駅南口地下駐車場条例												可決
議案第36号	都市計画法に基づく開発行為等の基準に関する条例の一部を改正する条例									×			可決
議案第37号	船橋市営住宅条例の一部を改正する条例												可決
議案第38号	包括外部監査契約の締結について												可決
議案第39号	市道の路線認定及び変更並びに廃止について												可決
議案第40号	事業収支改善計画の作成について									×	×		可決
議案第41号	町名呼称の変更について												可決
議案第42号	固定資産評価員選任の同意を求めることについて												同意
議案第43号	固定資産評価審査委員会委員選任の同意を求めることについて												同意

- 賛成 市(市議会)新(新風)ふ(ふなばし21)清(清新会)緑(緑政会)公(公明党) 共(日本共産党) 民(市民連合) 声(小さな声ネットワーク) 無(佐藤 浩)
 x - 反対

陳情議決結果

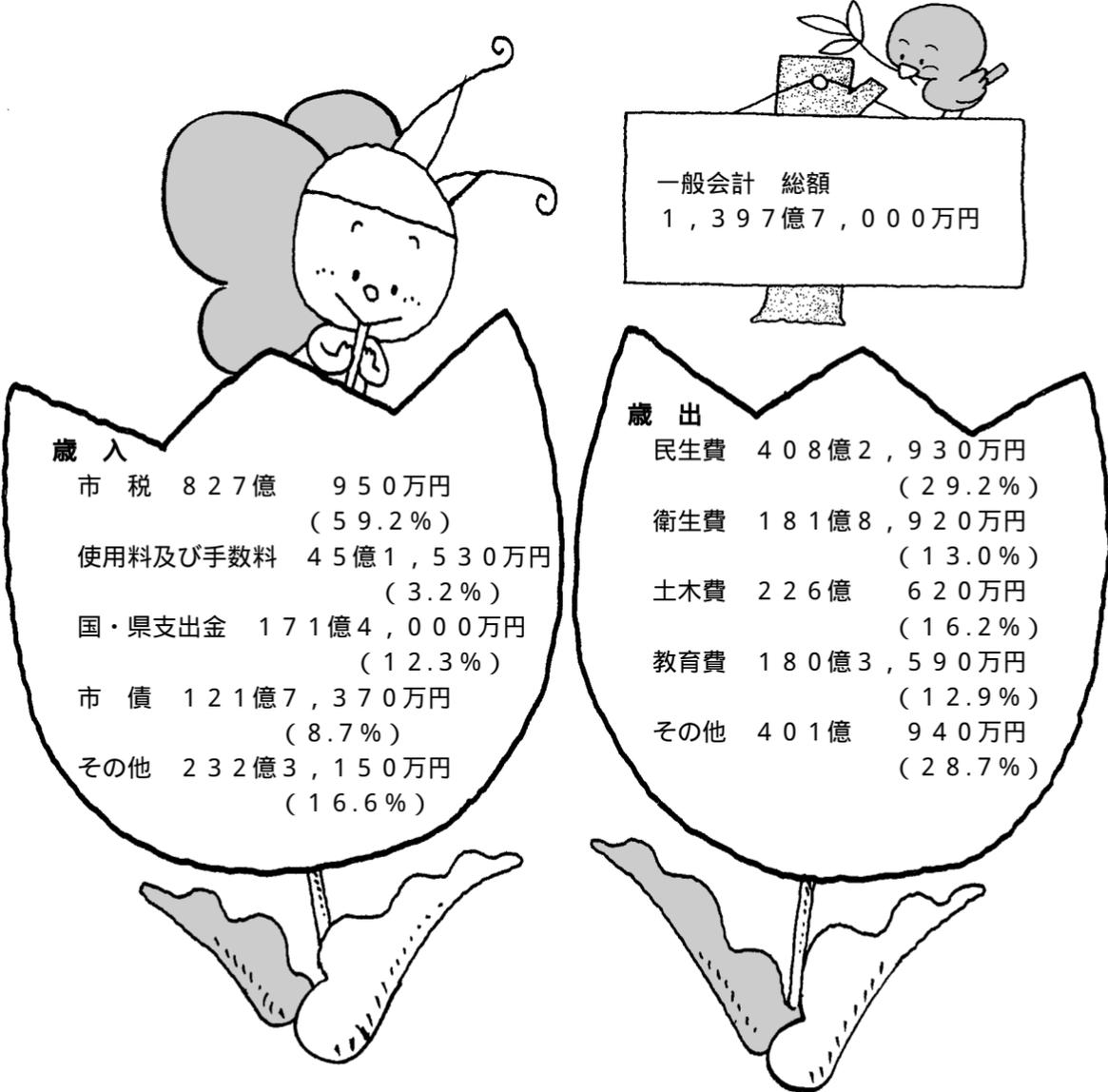
付託委員会	受理番号	件名	本会議の結果
総務	陳情第1号	金子容子さん早期救出の意見書提出に関する陳情	(賛成多数)
	陳情第2号	平和の意見書提出に関する陳情	(賛成多数)
	陳情第3号	イラク情勢の平和的解決の意見書提出に関する陳情	(賛成多数)
厚生	陳情第4号	最低保障年金制度創設等の意見書提出に関する陳情	×(賛成少数)
	陳情第5号	現行老人医療費助成制度の継続に関する陳情	×(賛成少数)
	陳情第6号	健保本人3割負担実施凍結の意見書提出に関する陳情	×(賛成少数)
	陳情第7号	介護保険料引き上げ見送り等に関する陳情	×(賛成少数)
環境経済	陳情第40号	縦割り保育(異年齢の混合保育)の職員配置基準に関する陳情(継続審査事件)	(賛成多数)
	陳情第8号	馬込斎場のあり方と周辺環境整備に関する陳情	(全会一致)
建設	陳情第9号	MIDイオン津田沼ショッピングセンターの出店対策に関する陳情	(全会一致)
	陳情第10号	行き止まり標識設置(習志野台7丁目)に関する陳情	(全会一致)
議会運営	陳情第11号	船橋日大前駅アクセス道路へ通ずる道路の封鎖に関する陳情 ...	×(賛成なし)
	陳情第12号	凌雲荘(通称山崎別荘)の早期復元に関する陳情	×(賛成少数)
	陳情第13号	都市計画道路3・4・20号線の早期整備に関する陳情	(全会一致)
議会運営	陳情第76号	議場に国旗掲揚に関する陳情(継続審査事件).....	(賛成多数)
	陳情第2号	議場に国旗及び市旗掲揚に関する陳情(継続審査事件).....	(賛成多数)

- 採択 x - 不採択 - 継続審査

平成15年度 予算の概要

会計別予算

区分	予算額	伸び率(%)
一般会計	1,397億7,000万円	0.2
国民健康保険	374億1,500万円	9.1
下水道	245億6,900万円	6.3
小型自動車競走	137億9,700万円	23.4
交通災害共済	1億100万円	1.0
災害等災害共済	2,720万円	0.4
老人保健医療	284億200万円	3.5
船橋駅南口市街地再開発	27億2,100万円	56.2
介護保険	152億7,300万円	10.5
母子寡婦福祉資金貸付	1億800万円	皆増
計	1,224億1,320万円	4.4
企業会計		
中央卸売市場	15億9,200万円	11.8
病院	136億7,500万円	7.0
計	152億6,700万円	7.5
特別会計・企業会計	1,376億8,020万円	4.8
合計	2,774億5,020万円	2.4



予算特別委員会の審査

予算議案16案を審査する予算特別委員会(委員14人)は、委員長に佐々木照彦委員、副委員長に斎藤忠委員を互選し、17日、18日、19日の3日間で質疑を、20日に討論・採決を行いました。

第1号(一般会計)

本予算案に対しては、質疑の後、日本共産党の委員から「地方自治体の役割が増大する中、本予算にはその配慮がないため、介護利用補助や敬老祝金支給、商店街活性化事業助成や住宅リフォーム資金助成等を実施。市独自の教員配置、学校給食の直営化、消費税軽減、有料道路、習志野駐屯地や中山競馬場馬投票券への課税、文化スポーツ大会激励金等のカット、入札の改善による建設費等の削減等を内容とした予算に組み替え、再提出すべき」との組み替え動議が提出された。

提出者に対する質疑の後、討論・採決を行ったところ、動議は日本共産党の委員のみの賛成少数で否決され、原案は多数で可決・採決した。

「討論の要旨」

市議会 新風 ふなばし 21 清新会 15年度は、中核市移行や保健所の設置などにより、事務処理の簡素化・迅速化など、市民サービスの充実に図られるとともに、地域の実情に応じた独自のまちづくりが可能となり、主体的・総合的なまちづくりの実施に期待する。特に、船橋駅南口再開発ビルには総合窓口の設置など、市民サービスの充実に寄与するものと考えられる。また、公園・下水道の整備など、将来を見据えた施策の積極的な

展開等、市民要望に沿った重要な事業が多く含まれている。今後引き続き行財政改革に取り組み、簡素で効率的な行政運営を果たされることを期待して、原案に賛成。

公明党 厳しい財政状況でのスタートだが、中核市移行に伴う各種事務事業の推進や、南口再開発ビルのオープンなど、市民サービス向上のための予算も計上されている。今後は、事務事業の徹底的な見直しを図るとともに、より必要となる予算配分が図られるよう、努力されたい。なお、低所得者に配慮した対策や予防事業の充実、計画的な学校の施設改修、地域における芸術文化活動の活性化、商店街の活性化、循環型社会の構築に向けた取り組み、産業廃棄物の適正処理と不法投棄防止対策の強化等、強い決意で臨むことを期待するとともに、透明性・信頼性のある市政執行を求め、原案に賛成。

小さな声ネットワーク 原案には賛成だが、厳しい財政の中で、事業をどう展開していくか、説明責任と執行責任が求められる。必要な市民に、必要なサービスが届くのかとの懸念もある。就労形態の多様化に伴う保育形態の多様性を視野に入れ、一層の努力をされたい。子育て支援計画の策定には、新規事業で何をやるかという論点だけで

なく、既存の施設・制度の問題点などを精査されたい。路面の段差解消、歩行者の安全、交通事故防止など、今後も効果よく進められたい。ごみ減量化を進め、産業廃棄物の不法投棄には毅然と対処されたい。小学校の更衣室設置は、急ぐべき問題である。

市民連合 厳しい財政状況の中で、市民が求める福祉の向上、都市基盤の整備など、総合的に見て市民に配慮された予算案となっており、原案には賛成。ただし、老人医療費の助成制度を市民税非課税の世帯に限ったこと、はり・きゅう・指圧マッサージ助成費まで半減されたことは不本意である。各種補助金の一律10%削減問題、市庁舎の賃料、医師会への委託料、都市計画道路の線引き問題等、その重要性を認識され、改善を求めたい。また、公衆トイレは用途により所管が違つたので、縦割りを一元化し、計画的な設置計画を立案されたい。

日本共産党「歳出の増加は中核市移行による経費増が多く、地方交付税による措置も臨時財政対策債にすり替えられ、財源確保されるか不明で市の財政を破綻させる要因になりかねない。さらに、これまでの南口再開発ビルの財政負担に加え、償還金の返済計画は収支の見直しもなく、新たな不足額が市の財政負担に加算をされようとしている。中核市移行が借金依存財政になり、将来の財政運営が不安で、福祉サービスの削減という形になっている。原案は市民の不安を拡大させる内容になっており、切実な願いも切り捨てられている。また、国・県など行政間の財政負担の改善が進んでいない。税金を大切に使う、市民のために還元する意識が薄い。応負担をなくし、市民に税外負担を押し付け、企業のように運営している。民間委託が安いとして、高齢者福祉施設・保育園・学校給食などを委託し、公共性を放棄している。市政への信頼を失いかねない特定企業との癒着問題等があり、予算組み替えの必要がある。」

第2号(第16号) それぞれ質疑の後討論・採決を行ったところ、いずれも多数または全会一致で可決すべきものと決した。

「採決内容は、3面を参照」

「託児ルーム」のお知らせ

本会議・委員会を傍聴している間、小さなお子さんをお預かりする「託児ルーム」がご利用できます。

利用時間 午後0時45分～午後6時まで

利用される方は、前日の正午までに電話等でお申し込みください。

常任委員会の動き

総務委員会

審査事件

議案10案
陳情3件

審査の概要

議案について

第17号一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例については、「適正化」という理由で国に合わせて手当を引き下げていくのは、中核市を選択した市の方針と相入れないものがある。また、退職者数も想定して退職金を積み立てるのが使用者の責任である」との反対討論、給与を減らすことはそれぞれ大変な思いをすと思うが、今の社会状況のもとでは行政に働く

建設委員会

審査事件

議案6案
陳情4件

審査の概要

議案について

第33号船橋市本町駐車場条例の一部を改正する条例は、民間駐車場への影響、利用者数、歩道安全対策、条例改正理由、船橋駅南口地下駐車場条例との整合等の質疑、「出入庫時、夜間の安全対策強化を求める」との賛成討論があり、全会一致で可決となった。
第34号船橋都市計画事業船橋駅南口第一地区第一種市街地再開発事業施行条例の一部を改正する条例は、清算金対象者数・額、清算金利率引

人たちが痛みを分かち合っていないかなければ、住民のニーズにこたえられない」との賛成討論があり、日本共産党の委員を除く多数で可決すべきものと決した。

審査事件

議案10案
陳情3件

審査の概要

議案について

第19号職員の旅費に関する条例及び証人等の実費弁償条例の一部を改正する条例については、出張や研修の頻度及び改正による削減効果についての質疑があった。賛成の立場で「行政サービスの低下につながらないよう、配慮していただきたい」との討論があり、全会一致で可決すべきものと決した。

第24号小型自動車競走施行条例の一部を改正する条例については、反対の立場で「車券の販売と払い戻しが民間に委託されると、ギャンブル性がますます強まっていくことが懸念される」との反対討論

があった。採決の結果、日本共産党の委員を除く多数で可決すべきものと決した。

審査事件

議案9案
陳情5件

審査の概要

議案について

第40号事業収支改善計画の作成については、「交付金で賃金や退職金を賄えるうちに思い切った事業をやめた方がよい」との反対討論、将来的には撤退せざるを得ないと思うが、その際は従事者の賃金・退職金補償等を考慮していくべき」との賛成討論があった。採決の結果、日本共産党の委員を除く多数で可決すべきものと決した。

き下げの影響等の質疑があり、全会一致で可決となった。
第35号船橋市船橋駅南口地下駐車場条例は、本町駐車場条例との整合、他駐車場料金との整合、減免対象、発火性物品等の規制、テナント利用者等割引、周辺交通渋滞対策、還付金等の質疑、「駅周辺駐輪・駐車場不足解消、周辺商店街活性化等が期待される」と、「オートバイも駐輪させよ」と、「使い勝手のいい駐車場に」と、他条例との整合を図れ、「管理は外郭団体に任せ、職員は次期再開発に集中せよ」、「駐輪場充実を求めるとの賛成討論があり、全会一致で可決となった。

厚生委員会

審査事件

議案9案
陳情5件

審査の概要

議案について

第26号老人医療費の助成に関する条例の一部改正条例は、市の政策決定の根拠や影響等について質疑があった。質疑の後、2委員から、審査に当たり、広く市民の意見を聴いた上で可否を判断すべきとして、参考人の出頭を求める動議が提出された。

これに対し、「議員も市民の代表であり、本会議や本委員会の中で十分議論を重ねている」と、「この制度だけを取り上

げて広く市民の声を聴くことは、市民参加の行政の実現の趣旨に照らして疑問がある」との反対討論、「できるだけ市民の声を聴く機会を設けるべき」との賛成討論が行われた。

審査事件

議案9案
陳情5件

審査の概要

議案について

第26号老人医療費の助成に関する条例の一部改正条例は、市の政策決定の根拠や影響等について質疑があった。質疑の後、2委員から、審査に当たり、広く市民の意見を聴いた上で可否を判断すべきとして、参考人の出頭を求める動議が提出された。

質疑の後、2委員から、現行の簡易マザーズホーム事業は支援費制度になじまないため、現行どおりの事業を継続すべきとして、簡易マザーズホーム条例の一部改正条例を削る内容の修正案が提出された。

審査事件

議案9案
陳情5件

審査の概要

議案について

「市民にその是非を問わず議会に提案することは、地方自治の原則から逸脱している」と、また修正案賛成の立場で、「財政的影響を考えると、支援の必要な人への助成制度としての変更もやむを得ないが、運用面で配慮されたい」、「現状やこれからの高齢化社会の問題を考えると制度改正はやむを得ない」との討論が行われた。

環境経済委員会

審査事件

陳情2件

審査の概要

陳情について

第8号馬込斎場のあり方と周辺環境整備に関する陳情は、A「今日に至るも交通渋滞が解消されないため、付近住民に大きな負担をかけているが、突っ込んだ解決策はないのか。B「各市に火葬施設設置については、検討中で、全く先が見えていない状況なのか。C「これから10年、馬込斎場をどういう形で運営するのか。D「第1式場を2つに分割すれば、利用者が増え、交通渋滞が激しくなりはしないか。E「交通問題解決のために、迂回路・

一方通行化が必要ではないか等の質疑があった。採決の結果、全会一致をもって採択すべきものと決した。

審査事件

議案9案
陳情5件

審査の概要

議案について

第9号MIDIオン津田沼ショッピングセンターの出店対策に関する陳情は、A「周辺商店が廃業に追い込まれ、地域の高齢者の買い物に不便になる」と陳情書にあるが、どのように見ているか。B「駐輪場については、津田沼駅北口周辺の駐輪対策として、買い物客以外も利用できるのか。C「交通問題は渋滞どころか完全にストップする。道路買収新築成地下化等総合的な交通対策を早に要請すべきではないか。D「24時間営業により、近隣住民が迷惑をうけることが出てこないか等の質疑があった。採決の結果、全会一致をもって採択すべきものと決した。

市議会のホームページをみてください

<http://www.city.funabashi.chiba.jp/giji/gikaisite/>



<掲載内容>

- お知らせ** 船橋市議会の活動に関する最新の情報を掲載しています。
- 定例会** 船橋市議会定例会（臨時会）の日程、議案概要、議案質疑・一般質問者、議案の付託委員会、請願（陳情）の議決結果について掲載しています。
- 本会議記録** 平成9年第1回定例会以降の本会議議録を掲載しています。
- 委員会記録** 平成11年第1回定例会以降の常任委員会及び特別委員会の会議録を掲載しています。
- 名簿・資料** 船橋市議会議員名簿（会派別、委員会別）及び、統計・市議会の仕組み・関係例規・先例申し合わせ、委員会の報告書等の資料を掲載しています。
- 傍聴** 本会議及び委員会の傍聴方法、託児ルームの利用等についての情報を掲載しています。
- 請願・陳情** 請願（陳情）の出し方、平成11年以降の請願陳情文書表を掲載しています。
- 議案** 平成11年以降の発議案（議員提出議案）を掲載しています。
- Links** 市議会各会派サイト、議員個人のHPへのリンクページです。

市政執行方針及び 議案に対する 質疑

市民連合

リハビリテーション病院

問 なぜ総合リハビリテーション病院で検討しなかったのか。

答 医療センター等急性期病院は常に満床状態で、十分なりハビリが行えない。脳血管疾患患者等を早期から受け入れ、十分なリハビリを提供するリハビリ病棟の整備を早急に要望し、220床の病床配分を受けた急性期病院後方支援の目的以外では、病床配分は受けられなかった。

問 急性期のリハビリだけでは救えない難病疾患、あるいは障害者の方々のリハビリをどう考えているのか。

答 当該地域は住宅と商店が混在しており、商店の開店の現在の時間を希望している。話し合いにより合意させない。

問 悪臭対策

問 高根公団駅南口側では、汲み取り方式のし尿収集家庭があり、収集を朝8時過ぎに行っているが、食事の時間に当たり不快な思いをしている家庭がある。し尿収集の時間を遅い時間にならないか。

答 患者に満足してもらおうという職員の指導教育に努めている。また、院内で接遇委員会を組織して、職員の間で患者への対応を改善していかうか。



患者サービスの向上を図れ

問 医療センターについて

答 リハビリテーション病院を中核とした、保健、福祉、医療の各機関と連携する地域リハビリテーションシステムを構築していく必要があると考えている。

問 悪臭対策

問 凍結や積雪があるのは荒天下で危険な坂道となる生活道路が多い。道幅も狭いため、路肩に手すりを設置することは難しいと考えるが、隣接民有地を借上げ手すりの設置を進められないか。

答 手すりの必要な区間に連続的に設置できる隣接所有者の合意が得られれば前向きに考えていく。

問 福祉の手すりの設置を

答 凍結や積雪があるのは荒天下で危険な坂道となる生活道路が多い。道幅も狭いため、路肩に手すりを設置することは難しいと考えるが、隣接民有地を借上げ手すりの設置を進められないか。

答 食品廃棄物の減量と再資源化は重要であり、各種展示会での情報収集、研究会や講演会へ参加している。これらをプロジェクトチームと位置付けている。さらに、効果がある体制づくりについては今後の課題として研究していく。

問 障害福祉について

問 支援費制度に変わるが、業者選定の判断材料をどのように提供するのか。

答 指定業者一覧表の作成や業者のパンフレットを用意する。また、事業者の選択の相談も障害福祉課で行っていく。

問 食品廃棄物を燃料として再資源化することについて

問 生ごみを高温メタン発酵法で生物処理し、発生したメタンガスを電気や熱に変えていく。

問 支援費制度に変わるが、業者選定の判断材料をどのように提供するのか。

答 指定業者一覧表の作成や業者のパンフレットを用意する。また、事業者の選択の相談も障害福祉課で行っていく。

問 無料給食の存続を求める

問 無料給食サービスの規則では、老人の孤独感の解消を図るとともに、将来の需要に対応するため、建て替えはなるべく早い時期に着手できるように努力したい。

問 支援費制度に変わるが、業者選定の判断材料をどのように提供するのか。

答 指定業者一覧表の作成や業者のパンフレットを用意する。また、事業者の選択の相談も障害福祉課で行っていく。

問 行政環境の公共施設の利用を

問 原山中山駅周辺の市民サービス改善のため、市川市と協議を行い、公民館などを相互に使えるよう申し入れできないか。

問 支援費制度に変わるが、業者選定の判断材料をどのように提供するのか。

答 指定業者一覧表の作成や業者のパンフレットを用意する。また、事業者の選択の相談も障害福祉課で行っていく。

問 高齢者医療費助成制度の削減撤回を求める

問 病弱な高齢者の支援について、財政難を理由に削減することは、あつてはならないと考えるがどうか。

問 支援費制度に変わるが、業者選定の判断材料をどのように提供するのか。

答 指定業者一覧表の作成や業者のパンフレットを用意する。また、事業者の選択の相談も障害福祉課で行っていく。

問 学校週5日制について

問 教育委員会が行った調査では、今の子どもたちの土日の生活実態がわからない。再調査をしてみたいがどうか。

問 支援費制度に変わるが、業者選定の判断材料をどのように提供するのか。

答 指定業者一覧表の作成や業者のパンフレットを用意する。また、事業者の選択の相談も障害福祉課で行っていく。

問 三番瀬を次世代に残すために

問 市長は円卓会議で待たずにはなく、三番瀬の保全とラムサール条約登録に向け、市独自でできることに対して積極的に取り組んでもらいたい。

問 支援費制度に変わるが、業者選定の判断材料をどのように提供するのか。

答 指定業者一覧表の作成や業者のパンフレットを用意する。また、事業者の選択の相談も障害福祉課で行っていく。

問 15年度予算案について

問 将来新たな財政負担となる開発予算は、凍結するべきではないか。

問 支援費制度に変わるが、業者選定の判断材料をどのように提供するのか。

答 指定業者一覧表の作成や業者のパンフレットを用意する。また、事業者の選択の相談も障害福祉課で行っていく。

問 公正な課税を

問 橋が山にある産業廃棄物処理事業所の土地は登記簿上土地目が山林となっているが、実態は雑種地である。適正な課税を怠っているのではないか。

問 支援費制度に変わるが、業者選定の判断材料をどのように提供するのか。

答 指定業者一覧表の作成や業者のパンフレットを用意する。また、事業者の選択の相談も障害福祉課で行っていく。

無所属

中央卸売市場について

問 市場法の設置目的である公共の福祉は何を指すのか。

答 生鮮食品等を適正な価格で供給を行い、市民生活の安定に資することである。

問 流通機構が変化して市場を通さずに新鮮な食品を入手できるように、公共の福祉をどう確保していくか。

答 この事業は減歩の形であり権利者の合意を得ることが簡単でないことによる。

問 飯山地区土地区画整理事業

問 事業が進捗しない最大の理由は何か。

答 仮換地指定を行っている区域の造成工事や権利者への積極的な折衝を行う。

問 来年年度はどのような取り組みをするのか。

答 仮換地指定を行っている区域の造成工事や権利者への積極的な折衝を行う。

問 仮換地指定を行っている区域の造成工事や権利者への積極的な折衝を行う。



小さな声 ネットワーク

安全に歩ける街づくり

問 横断歩道の青信号の時間が短く、高齢者が渡り切れない場所がある。横断時間の基準を伺う。

答 交通量、道路条件等により県警察本部で決定している。1メートル当たり2秒が標準時間である。

女性専用外来について

問 女性専用外来の開設について、医療センターでの検討状況を伺う。

市清会

福祉について

問 福祉局の再編の中に子育て支援部の新設があるが、子育て世代にどのような支援を行うのか。

答 国の少子化対策基本方針などと整合性を図りながら本市の子育て支援計画の策定を進め、地域での子育てネットワークづくりなど、地域での子育て支援策を充実していく。

危機管理について

問 56万市民の命と財産を脅かす自然災害や人的災害時の危機管理体制はどうなっているのか。

答 自然災害については、災害対策本部や水防本部を設置し、行動する体制が確立している。BC(生物・化学)テロ対策としては消防局

答 平成15年度早期開設に向け、現在、女性医師の確保に努めている。

総合支所制度について

問 将来的に総合支所制度を持つ考えはないか。

答 地方分権が進むにつれ、重要になると認識しているが、現在の厳しい財政状況では時間がかかると思われる。

船橋市のDV対策

問 今後のDV防止への具体的な取り組みは。

警察署、保健所、医療機関等の連絡体制を確立し、対応することとしている。

坪井特定土地画整理事業に伴う周辺整備について

問 松が丘周辺には特別養護老人ホーム、保育園、幼稚園が存在し送迎バスの往來



幹線道路の充実を(松が丘地区)

が頻繁に見受けられるが、松が丘から坪井地区や大穴地区への送迎には古和釜十字路を回るため時間がかか

答 相談業務の充実を図るため、相談窓口の一本化を行った。また、県との連携を深め、被害女性へのきめ細かい対応に努めていく。



放課後ルーム待機者の解消を

放課後ルームについて

問 今年4月の待機者対策を伺う。

この松が丘地域から枝葉として、大穴地区と坪井地区に抜ける幹線道路が必要と考えるがどうか。

答 本市の都市計画道路は東京都圏間幹線道路(平井線)調査の結果を船橋地域に当てはめ、将来交通需要等の推計作業を行い、再検証をしている。この作業の中で当該地域の土地利用の変化も考慮に入れ、必要かどうかの検討をしていく。

平成15年度予算編成について

問 予算を編成するに当たり、苦心した点、編成後の感想を伺う。

答 中核市としてスタートするにあたり万全を期すこと、南口再開発ビルの公共公益施設も市民の期待に応えられる運営をすること、また限られた財源をいかに配分するかという点で非常に思案した。補助金の削減などもあるが、全体としては

答 定員の2割増の入所及びそれ以上の申請者は、近隣施設の選択を可能とした。2割増以内で、4年生が入所できないが、設定根拠を伺う。

答 対象を3年生までとしているが、定員に空きがあつた場合に利用できるものである。

学校施設の公的責任について

問 肢体不自由児が8校の普通学級に在籍しているが、障害児用トイレが3校しか設置されていない。設置のない学校ではおむつ対応であるが、見解を伺う。

答 必要に応じ、整備等の準備をしていきたい。

ふなばし21

民間活力を生かした行政サービスの拡充を

問 「仮称西船みどり保育園」の民間活力を生かした新たなサービス内容を伺う。

答 市が整備した建物を社会福祉法人に貸与し、社会福祉法人が運営を行う民間営方式により、休日保育や一時保育の実施、また、開所時間も現行公立保育園の2時間長い14時間を予定している。

職員の働き方研修について

問 市民の要望を的確に受け止め、認識し、政策に実現していく為に、今後ますます働くことの大切さが認識される。今後の計画を伺う。

答 個人の個性や働くことに



経営改善を(船橋オートレース場)

財源調整基金について

問 財源調整基金の残高が4億円弱となり、基金の取り崩しが不可能となった現在の今後の財政編成の見通しを伺う。

答 (習志野公園線)は開通の目途が立っていない。市の協力体制策はどうか。

答 職員の派遣により事業推進に協力しているが、整備促進についても強く要望していく。

問 市道00017号線の郷土資料館前交差点から入った右側の未買収地の対応はどうか。

答 地権者と話をしているところ。今後、用地の協力が得られるよう早期解決に向け努力していく。

問 郷土資料館交差点から約200m先にある変則交差点に信号機設置を求めめるがどうか。

答 拡幅整備を延伸させ、交差点の改良を考慮した整備計画道路3・4・30号線

答 事業全体を総合的に見直し、各事業間のバランスや整合性、また、事業の必要性や経済性等に配慮した事業体系をつくっていくことが課題と考えている。

問 歳入面についてはどうか。

答 市税、使用料などの自主財源の収納確保に努め、滞納整理などの業務を徹底していきたい。

小型自動車競走事業の再建計画について

問 オートレース事業の再建計画への取り組みは、あくまで再建なのか、事業収束が前提なのか、また、収束のために、税金の投入が必要なのか。

答 全力で再建へ努力したい。しかし、収支が改善しない場合は、小型自動車競走法の改正で、猶予された交付金を事業の撤退等に使用できることにもなっている。

問 行っているところで、関係地権者に用地協力をお願いして早期完成に向け努力していく。

環境について

問 地球温暖化を危惧しており指定樹林の役割が大変重要視している。

問 指定樹林の管理方法はどのようにしているのか。

答 指定樹林所有者に、枯損の防止など樹林地を管理保全してもらい、市は保全に要する経費の一部を助成している。



指定樹林の保全を求め

答 要と考えるがどうか。指定樹林を初めとする緑

緑政会

道の駅について

問 道の駅は地域振興の面から重要な公共施設として機能していると思われるが、本市の地域活性化のため、市として今後道の駅の設置を検討すべきと考えられるのか。

答 道の駅は、近年全国各地において設置されており、千葉県においても現在十四カ所設置されている。

市立船橋高等学校について

問 本市の基本計画の中には市立船橋高等学校に「演劇科・音楽科など本市の特性を生かしながら時代に応じた新たな学科を導入するなど、特色と魅力ある学校づくりを推進します」とある

答 非常に重要な役割を持つものであり、特に一定規模以上の指定樹林は、下草、低木、高木が重なり合うように生育し、ヒートアイランド現象の抑制に大きな役割を果たしていると考えている。

問 指定樹林の管理方法はどのようにしているのか。

答 指定樹林所有者に、枯損の防止など樹林地を管理保全してもらい、市は保全に要する経費の一部を助成している。

問 指定樹林の管理方法はどのようにしているのか。

答 指定樹林所有者に、枯損の防止など樹林地を管理保全してもらい、市は保全に要する経費の一部を助成している。

坪井特定土地画整理事業

問 区画整理事業の進捗状況と今後の見通しはどのようなものか。

答 平成9年2月の事業認可以降、調整池掘削工事、整地工事、下水道本管工事を推進してきた。造成工事については、平成14年度末までに地区の70%の区域で実施している。



芸術学科の導入を

答 市立船橋高等学校に芸術文化の教育をどう位置付けていくかが良いのか、船橋市立学校等将来計画検討協議会でも審議されているので、その結果も踏まえ充分検討していく。

問 平成16年4月には一部街開きを予定しているがどのような状態で街開きになるのか。

答 駅前広場と駅東口の供用開始は16年秋を目途に東葉高速鉄道と協議をすすめている。16年の春の使用収益開始により住宅建築が開始され、秋には入居が始まるとともに、駅東口も開業し、本格的な街開きとなる予定である。

清新会

坪井特定地区画整理事業について

事業地内の下水道整備の進行状況はどうか。

答 発注金額換算で、平成14年度末77%、15年度末89%、16年度で全ての工事が発注済みとなる予定である。

事業地周辺町会の下水道整備時期を伺う。

答 小松町会は、平成14年度末完成予定。東松が丘町会、やよい第一町会は、平成15年度より工事に着手。

習志野台8丁目、平成14年度から工事を実施、やよい第二町会は、平成16年度に工事予定である。

問 事業地内の公園整備に、地元の要望を取り入れられないか。

答 都市基盤整備公団との整備内容の協議に、地元住民の要望を反映するよう要請していく。

開閉に当たり、環境と共生したまちづくりをどのように行っていくのか。

答 必要な樹木の保全や移植

また、オートの創出等を行うっていく。

学校教育(ALTの活用)について

問 小学校へALT(外国人語学教師)を派遣することにより、どのような成果があるのか。

答 小学校4年生から6年生を対象に、国際理解を深める目的で、土・日曜を中心に公民館等を利用し開設している。

中学校での英会話能力の到達目標を伺う。

答 日常的な会話や情報交換等の基礎的コミュニケーション能力を身に付けることを目標としている。

平成11年から12年度の対象について、交付した事業所は24か所、28名中在職者は14名になる。

問 障害者の雇用に尽力されてきた事業主を公表し、表彰する必要があるのでは。

答 船橋地域産業雇用連絡協議会に提起し、検討したい。職場実習奨励金制度と職場適応援助者による支援制度を一つにまとめ、「障害者インターンシップ制度」を導入することはできないか。



ALT授業風景

問 障害者の雇用に尽力されてきた事業主を公表し、表彰する必要があるのでは。

答 船橋地域産業雇用連絡協議会に提起し、検討したい。職場実習奨励金制度と職場適応援助者による支援制度を一つにまとめ、「障害者インターンシップ制度」を導入することはできないか。

千葉県障害者職業センター等の意見を聞きながら実施機関及び協力奨励金等の調整について調査していきたい。

問 高齢者の利用が多い公民館の階段にスロープを設置する考えはあるか。

答 エレベーター未設置の公民館に階段昇降機などの設置を調査、研究したい。

外国人の文化や考え方を理解し、英語に対する興味・関心が高くなっている。また、学校外の活動として、「ふなっこ外国語体験講座」を新設し国際性を身に付けている。

問 「ふなっこ外国語体験講座」の具体的な事業内容は、

答 小学校4年生から6年生を対象に、国際理解を深める目的で、土・日曜を中心に公民館等を利用し開設している。

中学校での英会話能力の到達目標を伺う。

答 日常的な会話や情報交換等の基礎的コミュニケーション能力を身に付けることを目標としている。

夜間救急診療所において小児初期診療を充実させた取り組みをどのように評価しているか。

答 予想を上回る患者数となり、市民ニーズに応えられた施策と考えている。

夜間救急診療所の充実を



夜間救急診療所の充実を

新風

交通渋滞緩和策について

問 交通渋滞の抜本的な解決策について、新年度の取り組みを伺う。

答 都市計画道路7路線の整備を初め、交差点改良や歩道・通学路の整備を行い、交通安全の確保や渋滞解消に努めていく。

天沼交差点の具体的な渋滞緩和策は、

答 現在、県道夏見小室線の歩道拡幅計画が進められている。この整備状況と合わせて、県と協議していく。

都市計画道路3・3・7号線(南本町馬込町線)の延伸への取り組み状況はどうか。

答 県に対し早期事業化に向け要望している。

社会教育のあり方(地域の子育て支援)

問 子どもたちの週末の過ごし方について、前回の議会ですポーツや地域活動により健全な肉体や精神を鍛える重要性の提案に対し、学校を通じて地域に呼びかけをする。答がなかった。新

必要性をどう認識するか。

答 大変重要なものと考えており、更なる充実を図るためには救急医療体制全体からの見直しが必要と考える。

住宅政策を問う

問 新設の借上り住宅に何回申し込んでも公開抽選に外れてしまう現状があるが、入居選考方法の改善策は、

答 公正でわかりやすい方法を目指して、調査研究をしていきたい。

障害者、高齢者等の特定目的が公開抽選のために優遇措置にならない点は改善できないか。

答 改善策として困窮度の数値化が考えられるが、客観的に公正なものになるか等の課題がある。先進市などの情報を収集しながら研究を行いたい。

今後の供給計画はどうか。

答 平成14年度から10年間に550戸の供給を予定して

都市計画道路3・3・7号線(南本町馬込町線)の延伸への取り組み状況はどうか。

答 県に対し早期事業化に向け要望している。

社会教育のあり方(地域の子育て支援)

問 子どもたちの週末の過ごし方について、前回の議会ですポーツや地域活動により健全な肉体や精神を鍛える重要性の提案に対し、学校を通じて地域に呼びかけをする。答がなかった。新

必要性をどう認識するか。

答 大変重要なものと考えており、更なる充実を図るためには救急医療体制全体からの見直しが必要と考える。

住宅政策を問う

問 新設の借上り住宅に何回申し込んでも公開抽選に外れてしまう現状があるが、入居選考方法の改善策は、

答 公正でわかりやすい方法を目指して、調査研究をしていきたい。

障害者、高齢者等の特定目的が公開抽選のために優遇措置にならない点は改善できないか。

答 改善策として困窮度の数値化が考えられるが、客観的に公正なものになるか等の課題がある。先進市などの情報を収集しながら研究を行いたい。

今後の供給計画はどうか。

答 平成14年度から10年間に550戸の供給を予定して

遊休地を含め、用地の確保に努めていく。

環境対策について

問 ヒートアイランド対策としての建物緑化や街路空間緑化事業が、新年度予算に反映されていない。見解を伺う。

答 現在、新規施策として民間屋上緑化に対する助成制度の検討を進めている。

馬込公園及び馬込斎場周辺住民の生活環境整備への取り組み方針を伺う。

答 都市計画マスタープランで開設したまちづくり活動相談窓口の活用を取り入れ、土地所有者、地域住民、関係各課との連携を行い、まちづくり構想の作成を進め

プロジェクトが進んでいるようだが、どのような形で住民参加を促しているのか。

答 現在金杉地区において環境共生モデル都市の啓発活動の一環として、「エコシテイセミナー」という講座を開催している。開催に当たっては地域住民等が自主的に運営をし、市はサポートする体制をとっている。

今年3月に工事完了予定の金杉十字路の改良工事について、進捗状況を伺う。

答 平成14年度で約57%程度と聞いている。角地の墓地の解決に日時を要するため、平成16年度の完了予定は延びると思われる。

中高年齢者に対するシニア傾聴ボランティア事業の効果はどう把握しているのか。

答 元氣な高齢者が、悩みを持つ高齢者の話を聞くことにより孤独感の解消、また話を聞く高齢者にとっても社会に貢献する充実感や生きがいを得られ、両者に効果があると考えている。

グループホームの整備促進方針を伺う。

答 社会福祉法人・医療法人・NPO法人等に対する整備費補助による整備促進また質の確保の点から、第三者評価や現地調査、地元同意の確認等を行っていく。

中部・北部地域における道路問題

問 今年3月に工事完了予定の金杉十字路の改良工事について、進捗状況を伺う。

答 平成14年度で約57%程度と聞いている。角地の墓地の解決に日時を要するため、平成16年度の完了予定は延びると思われる。

ベンチャー企業の支援策としてインキュベーション施設を設置できないか。

答 15年度より(仮称)創業支援資金制度を予算化しており、施設設置の必要性も感じていることから、現在企業等と協議を進めている。

金杉地区の取組みについて

問 まちづくりの一環として

遊休地を含め、用地の確保に努めていく。

環境対策について

問 ヒートアイランド対策としての建物緑化や街路空間緑化事業が、新年度予算に反映されていない。見解を伺う。

答 現在、新規施策として民間屋上緑化に対する助成制度の検討を進めている。

馬込公園及び馬込斎場周辺住民の生活環境整備への取り組み方針を伺う。

答 都市計画マスタープランで開設したまちづくり活動相談窓口の活用を取り入れ、土地所有者、地域住民、関係各課との連携を行い、まちづくり構想の作成を進め

プロジェクトが進んでいるようだが、どのような形で住民参加を促しているのか。

答 現在金杉地区において環境共生モデル都市の啓発活動の一環として、「エコシテイセミナー」という講座を開催している。開催に当たっては地域住民等が自主的に運営をし、市はサポートする体制をとっている。

今年3月に工事完了予定の金杉十字路の改良工事について、進捗状況を伺う。

答 平成14年度で約57%程度と聞いている。角地の墓地の解決に日時を要するため、平成16年度の完了予定は延びると思われる。

中高年齢者に対するシニア傾聴ボランティア事業の効果はどう把握しているのか。

答 元氣な高齢者が、悩みを持つ高齢者の話を聞くことにより孤独感の解消、また話を聞く高齢者にとっても社会に貢献する充実感や生きがいを得られ、両者に効果があると考えている。

グループホームの整備促進方針を伺う。

答 社会福祉法人・医療法人・NPO法人等に対する整備費補助による整備促進また質の確保の点から、第三者評価や現地調査、地元同意の確認等を行っていく。

中部・北部地域における道路問題

問 今年3月に工事完了予定の金杉十字路の改良工事について、進捗状況を伺う。

答 平成14年度で約57%程度と聞いている。角地の墓地の解決に日時を要するため、平成16年度の完了予定は延びると思われる。

ベンチャー企業の支援策としてインキュベーション施設を設置できないか。

答 15年度より(仮称)創業支援資金制度を予算化しており、施設設置の必要性も感じていることから、現在企業等と協議を進めている。

金杉地区の取組みについて

問 まちづくりの一環として

お知らせ

第1回臨時会(改選後の初議会)
5月19日(月) 開会予定

第2回定例会
6月5日(木) 開会予定

請願・陳情について
次の定例会の受理期限は、6月4日(水)午後5時です。

「市議会だより」に対するお気づきの点がありましたら、下記までご意見等をお寄せください。

船橋市湊町2-10-25
船橋市議会 広報編集委員会
電話 047(436)3012
FAX 047(436)3013
Eメール gikaishomu@city.funabashi.chiba.jp